



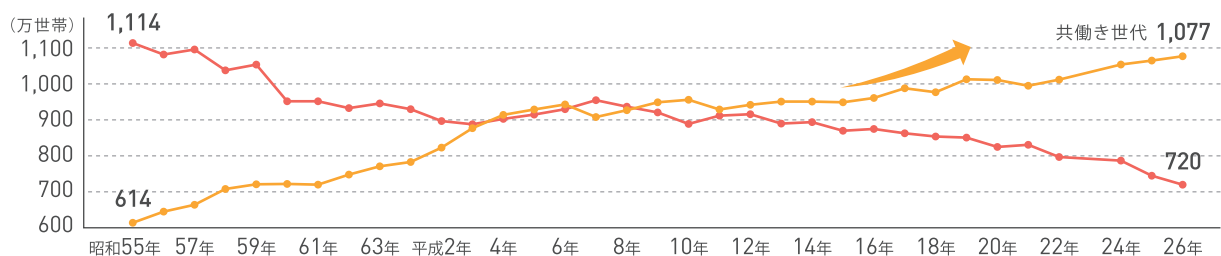
子育て世代の支援ニーズ

地域の支え合いの必要性

1. 共働きの増加

夫婦共に働く共働き世帯が、年々増加しています。また、核家族が増え、祖父母との同居世帯が減っている現状から、子育て中の夫婦の家事・育児分担や子育て世帯をサポートする子育て支援がますます求められています。

図4. 共働き等世帯数の推移 男性雇用者と無業の妻から成る世帯 雇用者の共働き世帯



備考：1.昭和55年から平成13年までは総務庁「労働力調査特別調査」(各年2月。ただし、昭和55年から57年は各年3月)。平成14年以降は総務省「労働力調査(詳細集計)」(年平均)より作成。「労働力調査特別調査」「労働力調査(詳細集計)」とは、調査方法、調査月等が相違することから、時系列比較には注意を要する。2.「男性雇用者と無業の妻から成る世帯」とは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者(非労働力人口及び完全失業者)の世帯。3.「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦共に非農林業雇用者の世帯。

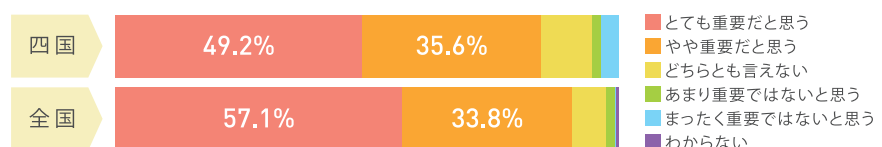
資料：男女共同参画白書 平成27年版(内閣府)

2. 地域での子育て支援の意識

四国では、子育てする人にとって、約85%の方が地域の支えが重要だと思っています。

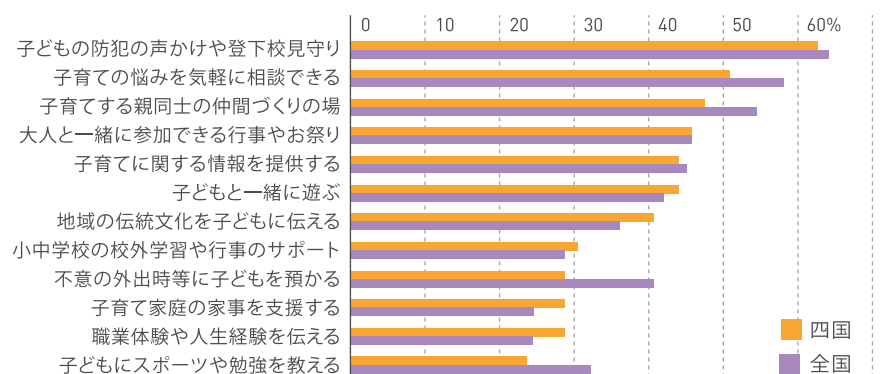
また、四国では地域で子育てを支えるために重要なこととしては、子どもの見守りや子育て相談などを挙げる方が多くなっています。

図5. 子育てする人にとっての地域の支えの重要性



資料：家族と地域における子育てに関する意識調査報告書 H26.3(内閣府)

図6. 地域で子育てを支えるために重要なこと



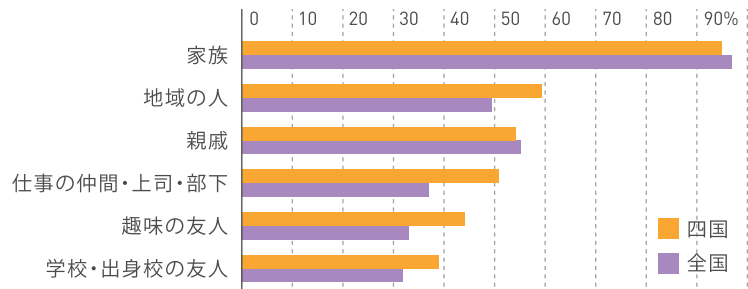
資料：家族と地域における子育てに関する意識調査報告書 H26.3(内閣府)

祖父母の手助けの必要性

1. 大切な人間関係やつながり

大切に思う人間関係やつながりとして、家族を一番多くの方が大切だと思っています。その他、四国では、全国に比べて、地域の人、仕事の仲間・上司・部下、趣味の友人などを大切に思う方の割合が高くなっています。

図7. 大切に思う人間関係やつながり

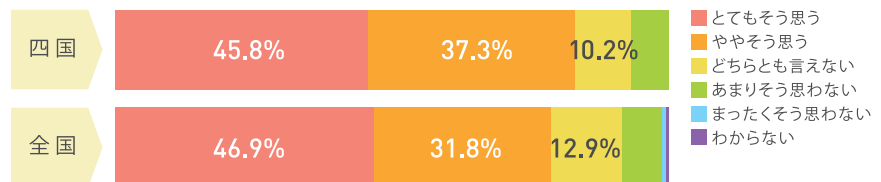


資料：家族と地域における子育てに関する意識調査報告書 H26.3(内閣府)

2. 祖父母の育児や家事の手助け

子どもが小学校に入学するまでの間、子どもの祖父母が、育児や家事の手助けをすることが望ましいと約8割の方が思っています。

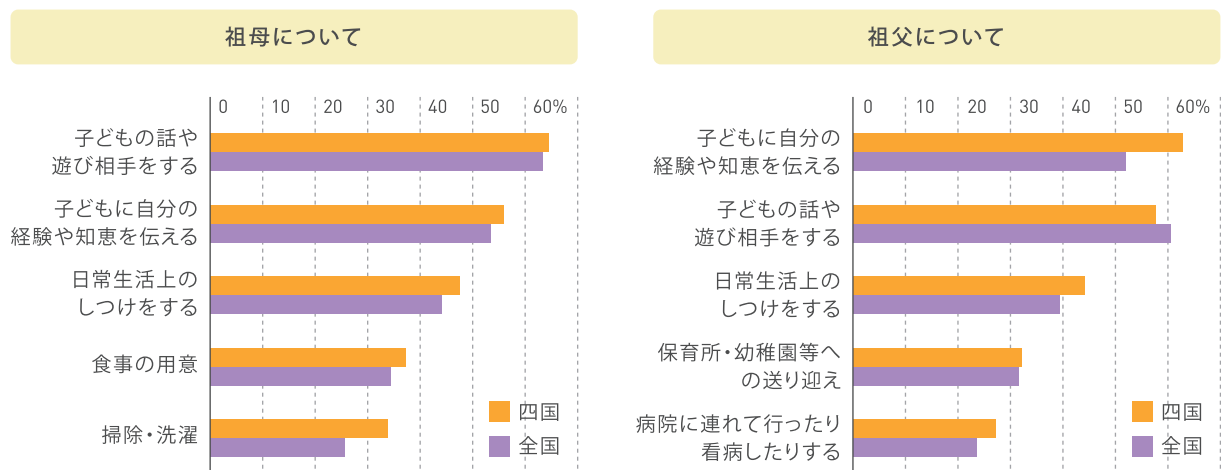
図8. 子どもが小学校に入学するまでの間、祖父母が手助けすることは望ましいか



資料：家族と地域における子育てに関する意識調査報告書 H26.3(内閣府)

また、子どもが小学校に入学するまでの間における祖父母への期待については、特に四国では、子どもに自分の経験や知恵を伝えることなどの手助けが期待されています。

図9. 子どもが小学校に入学するまでの間、祖父母に期待する手助け(各上位5項目)



資料：家族と地域における子育てに関する意識調査報告書 H26.3(内閣府)